

アスモ・たんぽぽ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ www.asumo-kaigo.jpからもご覧になれます。
上記のアドレスが【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

平成27年1月発行

第112号

〒165-0026

中野区新井1-26-4-2F

☎ 03-5318-4007



「明けまして、おめでどうございませう。」
あけましておめでどうございませう。皆様におかれましては健康やかに2015年の新春を迎えられたことと心よりお喜び申しあげます。

す。年末の慌しい空気から一変して凜とした空気に変わりました。それは全ての人が新しい年を志をもつて迎えようという気持ちでそうさせているのだと思います。

私は、二数年、年末は実家に帰省し、私を中心に母と妻とおせち料理を作ることが一年の締めくくりとなっています。今と

なつては、おせち料理もお金を出せば買える時代になりましたが、介護というお仕事をしているからなのか、年齢によるものなのかは自分でも分からないのですが、手作りというものを非常に意識するようになってまいりました。もちろん年老いた両親に少しでも喜んでもらいたいという気持ちや昔を懐かしむ時間をもつてもらいたいという思いもあるのですが……。



私の母は、昭和10年疎開先の台湾で生まれ、終戦の年、昭和20年の帰国と同時に実家の熊本に移り住みました。台湾が親日的であるということは、誰しもが知っていることだと思います。私も子供の頃、母から台湾が日本であったことは聞かされていましたが、明治28年、昭和20年の終戦まで50年間も日本が統治していたと知った時は驚きました。先日、台湾へ観光に行った方の記事が掲載されていましたので、紹介させていただきます。団体で歩いていると日本人だと分るのでしょいか、いろんな人から声を掛けられたそうです。それがみんな80代、90代の人ののだそうです。日本が統治していた時代に子供だった人たちがその年代になっているのです。ある人は私は昔日本人だったんだと嬉しそうに話しかけてきたかと思うと、またあるところでは92歳の女性が「この地下でお茶屋をやっているからお茶を飲んで行きなさい」と。次の予定があるので帰ってくるのが夜遅いです」と説明すると「夜中3時くらいまで起きているから大丈夫。待っている」というので、商売熱心だなと思ひ、お茶

は買えないかもしれないと伝えると目に涙を溜めてこう言ったそうです。戦後の9年間、日本人からお金を取ったことは一度もない。私が日本人からしてもらったご恩を日本人に返さないといけないと思つて、街を歩いている日本人を見つけると必ず声を掛け、お茶をこちそうしてきたのです。死ぬまで日本人からお金を取らないと決めているといったそうです。次の日、それがご縁となりホテルで夕食をする際、その日本人団体は80代、90代の方たちと食事をするようになります。するとその方たちから、被災地はどうなっているのか？とすこく心配されていたので、東北からの参加者が、現状を話したそうです。そしてその後、一人の老人が手を挙げ 私は和歌の会に入っているんだと言われたそうです。聞くと台湾には和歌の会とか、俳句の会、川柳の会などがいっぱいあるそうです。

そのおじいちゃんは2011年に台湾全島の和歌の会でグランプリをとった人で、その時に受賞した歌を披露したいと前に出て堂々と詠まれました。



「未曾有なる 大震災に見舞われど
秩序乱さぬ 大和の民ぞ」

その瞬間、そこにいた日本人はみんな涙したそうです。そしてそのおじいちゃんは「こう話したそうです。私はあの震災直後の日本の皆さんの姿を見て、昔の台湾に来た日本人の精神が今も生きていることに感動した。そして世界中の人々に日本精神を伝えてくれて嬉しかった」といって、

今年の干支、未(羊)は、群れをなし、家族を大切にします。本年も介護サービスを取り巻く環境は更に厳しくなることが予想されますが、スタッフ、ヘルパーのみなさんと力を合わせ、「利用者様、地域の皆様に喜んでいただける事業所として努力して参ります。本年もどうぞ宜しくお願ひします。」



紹介センター(シニアハウスコム)入居相談員の1日



相談員：佐藤 小川

「入居相談員」と一言と言っても、相談者へ提出する資料作りや病院、介護事業所などでのセミナー開催など、多岐に渡ります。今回はその中でもご相談者と最も接する【相談対応と見学同行】の1日を例にご紹介します！！

<p>9:30</p> <p>相談者S様 【訪問相談】</p> <p>S様 ご自宅</p>	<p>先にご相談を頂いたS様宅へ訪問。お話を伺ったり、条件に合うホームの情報提供をします</p>	<p>14:30</p> <p>相談者K様 【見学同行】 2件目</p> <p>ホームB</p>	<p>1件目の感想や疑問点などを伺いながら本日2件目の施設へと送迎します</p>
<p>11:30</p> <p>【見学者お迎え】</p> <p>K様 ご自宅</p>	<p>S様宅を後にし、本日施設見学を希望されているK様宅へ社用車で迎えに上がり、施設へと送迎します</p>	<p>16:00</p> <p>【見学者お送り】</p> <p>K様 ご自宅</p>	<p>希望された2件目の見学が無事終了。感想や今後の意向などを伺いながら、K様宅まで送迎します</p>
<p>12:00</p> <p>相談者K様 【見学同行】 1件目</p> <p>ホームA</p>	<p>見学中もお付き添いし見逃しや聞き逃しがないようサポートします ※昼食は、施設の食事を相談者と一緒に試食♪</p>	<p>16:30</p> <p>帰社 【社内業務】</p> <p>事務所</p>	<p>事務所に戻り、各担当者へご報告の電話連絡 明日、来社相談予定のM様へ提供する施設情報を収集します</p>

